

Q シンボルである阿津賀志山と道の駅の連携は

A 町民の手で道の駅と観光を結びつけたい



松浦和子議員

山頂をセットでならんと史跡の指定を認めたと聞いている。石母田財産区との契約書も観光開発用地として締結するとあり、率先してできる整備ではないのか。

まちづくり交流課長 「1000年から1000年のまちづくり計画」にも阿津賀志山山頂も当然入っている。しかし、森林法の縛りもあり、今すぐ開発ができるものではない。国見でき得るものは何なのかを精査していく必要があると思う。国の基本法をうまく活用し、阿津賀志山の山頂や防塁

Q 6月の一般質問で、阿津賀志山山頂を見晴らし良く整備するのが喫緊の課題と申し上げた。町民からの情報で阿津賀志山山頂のつっじの枝が無残に切られたと知った。あそこまで切ったのはなぜか。

生活圏の森林の除染

原発災害対策課長

生活圏の森林の除染

Q 文化庁は防塁が山頂から一望できるとして、防塁と

文化庁は防塁が山頂から一望できるとして、防塁と

など、道の駅を核とした歴史めぐりのコンテンツに作り上げたいと考えている。

Q 町長の言う「交流・連携」から道の駅と阿津賀志山との連携をどう考えているか。

道の駅を核に町内をめぐるコース作りも案として出ており、町内の若者とワークショッ

まちづくり交流課長 核に町内をめぐるとして出ており、町内の若者とワークショッ

協議もしている。町民が町の良さを再認識し、町外にアピールする取り組みに着手したところである。

道の駅と町内の観光スポットを結びつけるのは町民の皆さんであり、うまく二者、三者間の連携をとり、情報発信をしていきたい。

小学生の研究発表から考えるまちづくりへの取り組みは

Q 国見小学校6年生の調査、研究の成果の発表は、町の将来への夢があった。住み続けたいと思えるまちづくりへの取り組みについて伺う。

国見小学校6年生の調査、研究の成果の発表は、町の将来への夢があった。住み続けたいと思えるまちづくりへの取り組みについて伺う。



こんな国見町になったらいいな (教育フォーラム)

町長

子どもたちの提言は素晴らしい、見どころいっぱいバスツアーや道の駅オリジナルエコバッグの配布、スイーツマラソンの開催など、今後町政に活かしていきたい。復興・再生をベールに、4大イベントなどでの魅力づくりを大切に、住みたくなる国見町につながるよう接点接点で事業化することが重要だと思ふ。子どもたちの意見を十分踏まえ、町政に反映させていきたい。

Q 敬老祝金は節目の年齢者に支給しては

A 高齢者福祉対策の大きな枠の中で考えていく

問 敬老祝金は町の上の604人に1万円、99歳以上の10人に20万円を支給する。合わせて支給金額の合計は804万円となる。また、数え80歳の148人に2千円相当のバスタオルを、88歳の59人には2万円相当の米寿祝い記念写真を贈呈している。

問 10年前、平成18年度の実績はどうか。

課長 平成15年、敬老祝金の支給実績は、近隣市町を調査したところ、桑折町は77歳の方に5千円、88歳の方に1万円、99歳以上の方には毎年2万円支給している。100歳の方には誕生日に20万円を支給している。伊達市は88歳の方に1万円、100歳の方には誕生日に10万円を支給している。川俣町は毎年85歳から89歳までの方に5千円、90歳以上の方に1万円を支給、100歳の方には誕生日に10万円相当の記念品を贈呈している。

町長 近隣市町の支給基準と比べても比較的高い水準であり、敬老祝金のあり方をベースから検討することは必要だと考えている。

敬老祝金を個別の問題として議論することは避けたい。もう少し広い視点で高齢者全体の政策がどういう形で行われているのか、その枠の中で敬老祝金の位置づけはどうかを十分検討する必要がある。そして高齢者団体、社会福祉協議会、寿クラブなどの意見を聞きながら、検討していく土俵づくりを来年度以降やっていく必要があると考えている。



佐藤定男議員

Q 実態として受給対象者は確実に

近隣市町と比較すると国見町は支給要件や金額は高い状況にあ

敬老会の対象者も増えてい



敬老会の対象者も増えてい